かけはし

会報 98 号 発行：特定非営利活動法人全国LD親の会　発行人：井上 育世
事務局：〒 151-0053 東京都渋谷区代々木 2-26-5 バロール代々木 415
TEL/FAX:03-6276-8985 E-MAIL:jimukyoku@jpald.net
URL：http://www.jpald.net/

特定非営利活動法人 JPA LD 全国LD親の会

第 17 回総会 ・ 第 23 回公開フォーラム ・ 青年の交流会のご案内

第 17 回総会および第 23 回全国 LD 親の会公開フォーラムを下記の日程で行います。総会議案書・議決権行使書等は５月中旬までに、各会あてにメールにてお知らせいたします。研修会・公開フォーラムの申し込み等詳細については、各会にご案内済みです。

● 第 17 回総会 （対面開催+オンライン参加）
日 時 ： 2024 年 6 月 15 日（土）13:30～15:00
会 場 ： かでる 2.7　510 会議室
（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）

● 役員研修会 （対面開催+オンライン参加）
日 時 ： 2024 年 6 月 15 日（土）15:30～17:30
会 場 ： かでる 2.7　510 会議室
テーマ ： 災害への備え

● 青年交流会
今年度の青年交流会は９月 14 日（土）にオンラインにて開催する予定です。詳細は別途お知らせします。

● 第 23 回全国 LD 親の会公開フォーラム
「成年期以降の課題 生涯にわたっての支援をつなぐ」
特別支援教育を受けた子ども達も社会人として生活する年齢を迎え、本人の自立と社会参加の継続と親亡き後が課題となっています。今回のフォーラムでは、教育からの移行期・成年期の課題を整理し、発達障害のある人がその人らしく豊かな人生をおくるため本人活動やライフステージの変化に対応した生涯学習や福祉連携のあり方、親なき後の支援のあり方のポイントについて考えます。
日 時 ： 2024 年 6 月 16 日（日）9:40～15:40
会 場 ： かでる 2.7 大会議室
開催方法 ： 対面開催（定員 100 名）&リアル配信
参加費無料
オンデマンド配信（予定）：6 月 21 日～7 月 20 日

プログラム

基調講演
「成年期以降をどう生きるか，そして見守り支えるか
～本人と家族の思いを考える～」
田中康雄氏
（こころとそだちのクリニックむすびめ院長）
行政説明 「発達障害施策の最近の動向」
西尾大輔氏 （厚生労働省 障害福祉課）
話題提供① 「地域生活を支え合うために」
山本彩氏（札幌学院大学心理学部教授）
話題提供② 「2010 年からのチャレンジ、発達障害をもつ子ども達の幸せへの道すじ」
永瀬次郎氏（親の会クローバー理事長）
話題提供③ 「親の会で見えてきた成年期支援の課題を考える」
赤塚美枝氏（親の会ぷりずむ理事長）
パネルディスカッション コーディネーター 田中康雄氏

主 催 ： NPO 法人全国LD親の会
共 催 ： NPO 法人北海道学習障害児・者親の会クローバー・小樽後志 LD・発達障害児者親の会「ぽてとの会」・室蘭 LD を考える会「ダビンチの会」・NPO法人ぷりずむ

第 23 回公開フォーラムは、朝日新聞厚生文化事業団「発達障がいとともに生きる 豊かな地域生活応援」の助成を受けて開催いたします。

● 懇親会
6 月 15 日 総会終了後に懇親会を開催します。
詳細は別途ご案内します。

2024 年度 特別支援教育支援員養成ビデオ講座

2024 年度特別支援教育支援員養成講座をビデオ配信形式で開催します。平成 21-22 年度文部科学省委託「民間組織・支援技術を活用した特別支援教育研究事業」にて策定したカリキュラムで、特別支援教育支援員、学習支援員、介助員だけでなく、学童保育・放課後等デイサービスなど発達障害児の支援を行っている方等に必要な知識や技能を織り込んでいます。ビデオ講座ですので、ご自宅等で配信期間中何度も講義を聞いていただけます。

◆コース：

・学習支援員コース［講習：19 科目/26 時間 10 分)］

◆受講費：

・一般 21,370 円(テキスト代 1000 円・送料 370 円込)

・会員 17,370 円(テキスト代 1000 円・送料 370 円込)
(正会員団体・賛助会員団体所属の会員および全国 LD 親の会の個人準会員・個人賛助会員は、会員価格で受講できます)

・受講費のお支払(前払)：クレジットカード決済・銀行振込

◆受講者：100 名

◆全講習を受講した方に、講座修了証をお渡しします。

◆プログラム

2024 年 8 月 21 日(水)～9 月 2 日(月)配信

1、特別支援教育概論　100 分
竹田契一先生(大阪教育大学名誉教授、大阪医科薬科大学 LD センター顧問)

2、学校・学級での支援の仕方　60 分
担任との連携の仕方 30 分
小田浩伸先生(大阪大谷大学教育学部長・教授、特別支援教育実践研究センター長、特別支援教育士 SV)

3、子どもへの対応の基本　90 分
笘廣みさき先生(一般社団法人発達支援ルームまなび理事、特別支援教育士 SV)

2024 年 9 月 4 日(水)～9 月 16 日(月)配信

4、主な障害の特性と理解(知的、身体、視、聴覚) 90 分
花熊暁先生(愛媛大学名誉教授、関西国際大学客員教授、特別支援教育士資格認定協会理事長、特別支援教育士 SV)

5、主な障害の特性と理解(発達障害)　90 分
花熊暁先生(同上)

6、ペアレント・トレーニングの視点　90 分
今村佐智子先生(一般社団法人発達支援ルームまなび理事、特別支援教育士 SV)

2024 年 9 月 18 日(水)～9 月 30 日(月)配信

7、社会性コミュニケーションの困難とサポート方法 90 分
伊丹昌一先生(梅花女子大学心理こども学部心理学科教授、特別支援教育士 SV)

8、行動面の困難とサポート方法　90 分
伊丹昌一先生　(同上)

9、介護・介助の基礎、移動介助　90 分
小田浩伸先生　(同上)

2024 年 10 月 2 日(水)～10 月 14 日(月)配信

10、聴覚障害への対応方法　60 分
能美由希子先生(筑波技術大学産業技術学部研究員、筑波大学人間系客員研究員、手話通訳士)

11、視覚障害への対応方法　60 分
氏間和仁先生(広島大学大学院人間社会科学研究科教授 博士(教育学)、特別支援教育士 SV、ADE)

12、自立生活面の困難とサポート方法　60 分
松久眞実先生(桃山学院教育大学人間教育学部教授、特別支援教育士 SV)

13、学校生活面の困難とサポート方法　60 分
松久眞実先生　(同上)

2024 年 10 月 16 日(水)～10 月 28 日(月)配信

14、特別支援教育コーディネーターからの
レクチャー　90 分
今村佐智子先生(同上)

15、支援員として活動して　60 分
支援員 3 名・今村先生(同上)

16、読み書きの困難とサポート方法　80 分
村井敏宏先生(学校法人青丹学園フラーテル L.C. 所長、言語聴覚士、特別支援教育士 SV)

17、言葉(聞く、話す)の困難とサポート方法　40 分
村井敏宏先生　(同上)

2024 年 10 月 30 日(水)～11 月 11 日(月)配信

18、算数の困難とサポート方法　120 分
栗本奈緒子先生(大阪医科薬科大学 LD センター言語聴覚士、特別支援教育士 SV)

19、教材・教具の利用方法　120 分
山田充先生(大阪市教育委員会インクルーシブ教育推進室通級指導アドバイザー、特別支援教育士 SV)

◆受講申込方法

(1)お申込み

【一般】下記 peatix 申込ページから
https://supporters2024-jpald.peatix.com

【会員】下記会員専用申込ページから
https://x.gd/pNTPj

(2)募集期間：2024 年 4 月 9 日(火)～7 月 22 日(月)

(3)テキストは、8 月 6 日頃に、受講費の領収書を同封して、受講者に郵送いたします。

※詳しくは全国LD親の会のホームページをご覧ください。

発達が気になる子の子育てモヤモヤ解消ヒントブック　親の会30年の経験から

1991年2月に「全国学習障害児・者親の会連絡会」として歩み始めた全国LD親の会。30年以上の間、LD等発達障害がある子をどう育てていけばよいのか、会員どうし情報交換したり、専門家の先生方から教えていただいたことを実践したりしてきました。子どもが成人した時に子育て中を振り返ってみて、「こうすれば良かった」という反省もあれば、「これで良かった」と思うこともたくさんあります。そういった私たちの子育ての経験をヒントブックとしてまとめました。目の前の子育てに追われ、子どもが成長していく先々のことが全く見えず、不安を感じている保護者のかたの参考になればと思います。

生活の基礎作り編

第1章　食べること
　スプーンや箸がうまく使えない/同じものばかり食べる　等
　コラム：楽しい食事が一番
第2章　衣服の着替え
　着替えで困ること/靴が履けるまで/服の着方に無頓　等
　コラム：ボタンの練習
第3章　生活リズムを整える
　昼間、寝てしまう/時間経過やスケジュールの把握が苦手/ゲームを長時間してしまう　等
　コラム：ゲーム障害
第4章　清潔に過ごす
　洗顔や洗髪が嫌い/歯をうまくみがけない/散髪が嫌い/トイレの失敗が多い/汚れが気にならない　等
　コラム：お風呂に入りながら伝えたいこと
第5章　金銭管理
　おこづかい/お年玉やお祝い金/キャッシュレス決済/金銭感覚を身につける/現金の扱い方　等
　コラム：お金を使う意味
第6章　コミュニケーションの基礎を育てる
　ことばが遅い/話し相手を見ることが苦手/会話が成り立たない/伝えられないもどかしさ　等
　コラム：コミュニケーションとことばの関係
第7章　身のまわりのことやお手伝いなど
　片づけ/料理/生き物の世話/はじめるコツ、続けるコツ
　コラム：自尊心

集団の生活編

第1章　集団での行動
　登園・登校をしぶる/運動会・遠足などの行事　等
　コラム：子どものすてきなところさがしのコツ
第2章　友達とのトラブル
　一方的に話す/人のせいにする/友だちにケガをさせてしまった時　等
　コラム：ソーシャルスキル
第3章　自分勝手にみえてしまう行動
　授業中、勝手に発言する/席で落ち着きがない/活動に協力しない　等
　コラム：行動の修正に必要な力
第4章　スケジュールの管理や持ち物
　持ち物をなくす/物の扱い方/時間を守れない　等
　コラム：子どもがわかりやすい環境を整えるために
第5章　放課後の過ごし方
　宿題/友だちと遊ぶ/習いごと/放課後等ディサービス　等
　コラム：放課後の意義
第6章　不登校
　親子の葛藤/信頼できる人との出会い　等
　コラム：新しい不登校支援

社会の中で生きるちから編

第1章　社会とかかわる第一歩
　～散歩や外遊びを楽しむために～
　外出を怖がる/こだわる場所から離れない/ひとりで同じ遊びをする　等
　コラム：感覚の発達
第2章　社会を学ぶ第一歩　～子ども連れの外出から～
　家族旅行を楽しむ/公共交通機関を利用する　等
　コラム：子どもと一緒にお出かけ準備
第3章　自立の第一歩　～親と離れて出かける～
　おつかい/ひとりで出かけたときのアクシデント　等
　コラム：精神的自立
第4章　趣味を持つ　～豊かな人生のために～
　本人が好きなこと/仲間ができる/つらい時の支え　等
　コラム：趣味と依存の違い
第5章　主体性をはぐくむ
　好奇心を育てる/目標や夢をもつ/自分から行動する　等
　コラム：ティーチングとコーチング
第6章　七転び八起き
　気持ちを前向きに切り替える/行動するきっかけをみつける/サポートを求める/子どもの意欲が落ちてしまった時
　コラム：失敗は成功のもと

各価格：1,650円（本体価格 1,500円+税）
購入方法：下記かもがわ出版HPから
http://www.kamogawa.co.jp/kensaku/syoseki/ha/1169.html

オンライン行政勉強会 報告

第３回 「障害者総合支援法の相談支援について」
講師：日詰正文先生（JDDnet 副理事長／元・厚生労働省 発達障害対策専門官）

2023年11月25日(土) 10:00～ 参加者：59名

高齢期の事例をたくさんお話しいただき、高齢期になって発達障害と診断されるケースがあること、認知症としての対応が発達障害の高齢者にとっては不適切な場合があるというお話に考えさせられました。「親なき後、当事者同志の横のつながりが支えになる」というお話を伺い、親の会のつながりの大切さと、本人に具体的な相談先（かかりつけ医・社協・消費生活センター等）を伝えておくことが大切だと改めて痛感しました。参加された方の「親なき後、安心して子どもを託すことができるのか」という切実な声に、親の会のできることをみんなで考えていきたいと思いました。

質疑応答や意見交換の際に、実際に相談専門員をされている会員さんからリアルな現場のお話も聴くことができ、たいへん勉強になりました。

第4回 「中学校での支援の取り組みや高校進学に向けての内申等について」
講師：笹森洋樹先生（常葉大学 教育学部教授）

2024年1月18日（木）10:00～　参加者：45名
（特例として、1月21日に録画配信　参加者：53名）

笹森先生より「学校における合理的配慮の提供」「思春期・青年期の課題と対応」について分かりやすくお話しいただきました。学びの保障とあわせ、子ども達のどんな力を育むのか、合理的配慮や支援は「本人が必要としているかどうかが重要で、先生と保護者だけで決めないで」というお話は教育に限らず、生涯を通じて親が心しておくべき普遍的なことだと感じました。「苦手の克服ではなく、好きなこと・打ち込めることを伸ばしてくれる環境を」「発達支援的生徒指導」等々、一つひとつのお話が心に響きました。笹森先生がお話しして下さったような環境整備・合理的配慮がすべての学校で提供されるよう、親の会としても力を尽くしていきたいと思いました。

各会役員交流会（オンライン） 報告

全国各地の親の会役員が、活動についての相談や情報交換ができるよう「オンライン役員交流会」を定期的（偶数月）に開催しています。

○ 第３回役員交流会 10月28日（土） 19名参加

「本人活動について」「勉強会について」「よかった活動について」の３つのテーマ別グループ（ブレイクアウトルーム）に分かれて、話し合いました。その後、全員（メインルーム）で、各グループの話題を共有した後、「県の発達障害者支援計画」について情報交換をしました。先回に引き続き、テーマ別で話したことで、より具体的な情報交換ができました。

○ 第４回役員交流会 12月23日（土） 22名参加

交流会とクリスマス・忘年会も兼ねてという趣向で、フランクな雰囲気で、会のことだけでなく個人的な悩みなどについても和気あいあいと話すことができました。

○ 第５回役員交流会 2月24日（土） 23名参加

今回もグループに分かれて、新入会員を増やすために工夫していることや、会の活動や運営について情報交換しました。SNS 等を活用して、こまめに情報や活動について発信している会や、会員のニーズに応じたLINEグループで情報交換をしているという活動紹介もあり、とても参考になりました。

幼児小学生交流会（オンライン） 報告

11月7日 幼児・小学生保護者交流会を開催しました。当日３名の保護者の方が参加して下さり、役員２名の計５ 名での開催となりました。内容としては、現在の子どもさんの様子や受けている支援・受けられる支援や、ご本人への障害告知等について話をしました。それぞれのお子さんの特性なども踏まえ、それぞれに違った悩みや共感できることがあり、毎回興味深くお話を伺っています。

参加された方から「保護者交流会でお話した会員の方とLD学会でお会いしてお話することができた」とお聞きして、全国 LD 親の会のネットワークを活かした仲間づくりが広がっていくと良いなと思いました。

今後は更に保護者同士の交流が深まるようなイベントをしていこうと思います。

ディスレクシア月間の取り組み

2023年10月のディスレクシア月間では、公立図書館や学校図書館を所轄している教育委員会あてに「読書バリアフリー法による情報保障を求める要望書」を提出する取り組みを各会にお願いしました。

発達性ディスレクシアがあると、活字印刷物を読むことがとても困難で、内容の理解が難しくなり、印刷された文字からの情報が得にくくなります。そのため、2019年6月21日、視覚障害者や発達障者、寝たきりや上肢障害によって本が読みづらい身体障害者の読書環境を改善するための法律「読書バリアフリー法」が成立しました。

図書館は印刷された書物がたくさんある場所ですが、もともと図書館には、“知る自由を保障する機関”としての役割があります。「読書バリアフリー法」には、地域の図書館に「読書」に困難がある障害者が利用しやすい資料（点字図書・拡大図書・録音図書・電子データなど）を充実させることなどが盛り込まれています。

「子どもの権利条約」にもあるように、「知る自由」は子どもたちにも保障されています。「知的好奇心をもち、多様な対立する意見のある問題について、それぞれの観点にたつ資料にもとづいて、情報・資料を理解し、批判し、判断し、自己意見をもつ地域市民として、これから成長していく」環境を、学校という教育の場をはじめ、いろいろなところで整えていく取り組みが求められています。

親の会でも、読書バリアフリー法の持つ意味を改めて考えることを、ディスレクシア月間の取り組みとして位置づけていきたいと思います。

一般社団法人 日本発達障害ネットワーク（JDDnet）より

■発達障害支援人材育成研修会2024
（オンラインセミナー）のお知らせ

日 程：2024年4月～2025年3月 毎月第3木曜日
時 間：19:45～21:45（120分）各回共通
参加費：1回のみ2000円・1期（3回）5000円
お申込み： ホームページ https://jddnet.jp
年間申込み締切：4月16日
※年間（4期12回）お申し込みの方には、JDDnetオリジナルノベルティグッズプレゼントの特典付きです。
お問合せ： info@jddnet.jp　JDDnet事務局

＜日程・講師＞　テーマ等、詳細はHPをご確認下さい。
春季セミナー
4/18市川宏伸氏・5/16内山登紀夫氏・6/20尾崎ミオ氏
夏季セミナー
7/18厚生労働省・8/15奥住啓祐氏・9/19日戸由刈氏
秋季セミナー
10/17文部科学省・11/21平林ルミ氏・12/19長江清和氏
冬季セミナー
1/16こども家庭庁・2/20酒井康年氏・3/20西山剛司氏

全国特別支援教育推進連盟 より

「全国特別支援教育推進連盟」は、教育・福祉・労働・医療等関係機関と連携して、特別支援教育の更なる充実を目指している団体です。全国特別支援学校校長会・特別支援学校PTA連合会・当事者団体等が加盟しています。

◆ 創立60周年記念・
第45回全国特別支援教育振興協議会 報告

日 時： 令和5年12月1日（金） 9:45～16:00
会 場： 国立オリンピック記念青少年総合センター
テーマ：インクルーシブ教育システムの充実を目指して

当日は、160名ほどの参加がありました。振興協議会に先立ち、創立60周年記念式典が催されました。その後の振興協議会では、文部科学省・こども家庭庁の行政解説と記念講演 「共に学び合うインクルーシブ教育の実現に向けて」（講師：宮﨑英憲先生）・シンポジウムが開催されました。特殊教育から特別支援教育への60年のあゆみを振り返るとともに、多様な障害と支援のあり方・今後のインクルーシブ教育について考える貴重な機会となりました。

各ブロックの活動報告

◎近畿ブロック 青年のつどいの会 報告

近畿ブロックでは毎年ブロック9会の青年たちを対象に、近畿ブロック「青年つどいの会」を開催しています。会の名称は本人たちが決めたものです。自会で開催できない会からも地域を超えて参加でき、他の会の青年たちとの交流で、本人たちだけでなく関わった親たちも元気をもらっています。

＊アーニャも参加（青年撮影）＊

2023 年 10 月 15 日（日）近畿ブロック「青年つどいの会」を開催しました。今回は兵庫県立歴史博物館で姫路城の歴史を学んだ後、姫路の街を一望できる姫路城の大天守に登るコースを企画しました。参加者は 16 名（青年 11 名スタッフ５名）でした。

前日まで天気予報は雨で心配しましたが明け方で雨もやみ、当日は朝からさわやかな秋晴れとなりました。姫路城が青空に映えてそれは美しく、気持ちの良い一日を過ごすことができました。兵庫県立歴史博物館では、最初は係の方がガイドをして下さり、その後の自由行動時間では、姫路城の断面模型やガラスの姫路城の展示をみたり、お城を裏側から見られるスポットで写真をとったりして過ごしました。

ランチの後はみんなでゆっくりと歩いて姫路城へ。だんだん近づいてくるお城の壮大な姿をいろいろな角度から見ることができ、各自好みのアングルで写真撮影を楽しんでいました。姫路城に入場してからは、6 階まで階段の急こう配に体力的な差もあり、3 グループに分かれました。体力的に少しきつかったかなと思う方も、降りる頃には元気になり「登れてうれしかった！」と言ってもらいホッとしました。お城を出て、最後にお土産を買ったりアイスを食べたりして過ごし、バスで姫路駅に向かい解散しました。

参加した青年たちは本当に礼儀正しく、明るく優しく素直な方ばかりで、スタッフ一同もとても楽しい時間を過ごせました。コロナ禍で数年開催できなかった「青年つどいの会」が久しぶりに開催できて本当に良かったと思えた一日でした。　　（報告：担当会 兵庫たつの子）

◎東海北陸ブロック交流会 報告

12月2･3日 東海北陸ブロック交流会を開催し、各会から親子20名ほどが参加しました。

1日目は、岐阜城・岐阜市歴史博物館を巡りました。ロープウェイで金華山山頂に登り、リス村でリスと戯れたり、快晴のもと天守閣からの素晴らしい眺望を堪能しました。その後は、小栗正幸先生ご夫妻を交えて懇親会を催し、楽しく交流しました。宿泊希望者は「就労継続支援B型事業所アリー」が運営する「蔵のある町家の宿 帰蝶」に宿泊しました。翌日は名古屋へ移動し、愛知かたつむり主催の講演会（講師：小栗正幸先生/テーマ「性の教育ユニバーサルデザイン」）に参加しました。コロナ禍の3年間はオンライン開催でしたが、4年ぶりに対面で開催することができ、皆さんの笑顔から元気をいただきました。

（報告：岐阜れんげの会 ）

被災された皆様の平穏な日常が戻ることを祈っています。

◎九州ブロック 講演会報告

2024 年 3 月 17 日（日）、九州ブロック会議にあわせ、鹿児島市の志學館大学大学院講師 前野明子先生を講師にお招きして、「親も子も 笑顔が増える子育てのヒント～ペアレントトレーニングの視点から」をテーマにセミナーを開催しました。

前野先生は平成 30 年から、「かごしま発達支援ネットワークてとてと」と協働で、保護者が発達障がい等の子育てのスキルを学びながら、情報を共有し、悩みを共感する行動分析ワークショップに取り組んでいただいております。今回のセミナーでは、子どもの行動理解と対応のヒントについて、コミュニケーションワークの実践をとおして、ほめることの大切さを学びました。

参加者からは、「肯定的なほめる声掛けのコツが分かった」「以前ペアトレを受講した時のことを思い出せて早速実践したい」などのお声をいただきました。アンケートでは、セミナーやペアレントトレーニングなどの研修会や情報交換会を開催してほしいという要望もあり、今後も「てとてとルーム（座談会）」など、ニーズを踏まえた取り組みを行っていきたいと考えています。

（報告：担当会 鹿児島てとてと）

能登半島地震 体験談

能登半島地震で被災された皆様にお見舞い申し上げます。被災地の1日も早い復興と皆様の平穏な生活が戻ることを心よりお祈りいたします。大変な状況の中、北陸3県の親の会の皆様から体験談をお寄せいただきました。

今回の地震で感じたこと、まずは命を守ること
家族でどこへ避難するか決めておくこと、最終的にそこに合流できるように！
ハザードマップは常に確認しておくこと。

○ できれば指定避難所に避難すること（飲料水・非常食・毛布の備蓄がある）。最低限言えることです。津波の恐怖の中で高台目指して車を走らせたこと、避難所でも余震は恐怖でしかなかったです。車の中とか、納屋・ガレージなど、余震で下敷きにならない所で耐える。

○ 自衛隊から水や食料をもらいながら、次の事を考える余裕ができるまで耐えている。半島は、家族がそこにいれば、どんな事をしても家族のそばに行きますが、震源地には行かないという選択も邪魔をしてはいけない。ただ無事を祈るだけです。

○ 家族では津波のときは裏山にあるお寺に行こうと決めてありました。地震が起きて10分位した頃、近所の人から津波の情報があると聞き、そのお寺に向かい、近くの人達も集まってきました。ただそのお寺は普段、人が住んでいないため、外にいたのですが、段々暗くなり寒くなってきたので車を取りに帰宅し、お寺の駐車場にいました。その後津波がこない様子だったので、地区の避難所の小学校にみんなで移動しました。田舎の小学校のせいか、毛布も水も非常食もなかったので、家から少し食べ物と水と毛布を取りに行き、その日は体育館でストーブの周りで過ごしました。あーすればよかったとか、いっぱいありますが、家族が無事でそれだけで充分といった感じです。

○ 震度7で数千年に一度の隆起。まだまだ余震があります。今は、早く上下水道が整ってくれることしかない。生活に水がないと生きていけないと思います。

○ 津波警告が出て、皆さん車で避難したそうですが、まもなく大渋滞になったそうです。ここに津波が来たら・・・。東日本大震災で亡くなった方々は、こんな状態なんだと思ったそうです。

○ 本当に過酷な環境下に置かれた人をニュースでみるたび涙が出ました。どんなに備えをしていても何も持たず靴も履かずに避難している人もいました。私も息子も充電切れ寸前の携帯だけ持って逃げましたから、地震後しばらくは常に100%にしていました。

○ 被災地はまだ一歩踏み出すことさえ出来ない人が多い今、感想なんて求められてもそんな余裕ないのが本音だと思います。わが家も実家の母が避難中で、これからどうなるのか？どこから修繕すればいいのか兄は頭を悩ませています。

○ 障がい者施設が被災して、避難所にも行けなくて、家族・職員全てが被災者。そんな現実がありました。皆さん辛かったと思いますし、まだまだ日常には戻っていないと思います。

○ 現在の話ですが、加賀地方の温泉宿に避難された方々は、新幹線の敦賀延伸で、温泉施設から出ないといけないらしいです。いつまでもとどまる事は無理ですが、あてがあるのでしょうか。不安だと思います。温泉施設も生活がかかっているから非難できませんが、どうしたらいいのでしょうね。喉元過ぎればで、時間の経過とともに関心が薄れ手厚い支援も届かなくなるのが心配です。高齢者になって家を失うって想像を絶します。

募金先の情報

日本障害者協議会(JD)の加盟団体である、難民を助ける会（AAR JAPAN）・きょうされんは、現地へ緊急支援チームを派遣し，炊き出しや物資提供など、障がい者施設を支援しています。現地では未だライフラインが復旧せず、困難な生活が続いています。被災地支援は長期にわたります。ご支援にご協力お願いいたします。

● きょうされん自然災害支援基金
<郵便振替> 00100−7−86225
きょうされん自然災害支援基金ロ
<ゆうちょ銀行> 〇一九店(ゼロイチキュウ店)
当座 0086225
キョウサレンシゼンサイガイシエンキキングチ

◆ **寄付のお願い「全国LD親の会をご支援ください」**

NPO 法人全国LD親の会は、LD など発達障害の理解啓発や研究事業、本人・家族への支援事業に取り組んでいます。活動をより充実させるため、ご支援のほどお願いいたします。

振込先 ： 郵便振替口座：00120-3-52748　特定非営利活動法人全国LD親の会
通信欄に「寄付」とご記入下さい。

◆ **入会案内 会員募集!**機関紙かけはし・メールにて情報提供・ブロック活動へ参加できます。

正会員団体・・・　各地で活動している LD 等の親の会で、全国 LD 親の会の活動目的に賛同する団体
準会員団体・・・　LD等の親の会で、将来、正会員団体としての入会を目指す団体
個人準会員・・・　全国LD親の会の正会員団体がない県に居住する、発達障害の子どもの保護者の方
賛助会員　・・・　全国LD親の会の活動をサポートしていただける個人ないし団体
賛助会員も、講座やフォーラムに会員価格で参加できます。
（賛助会員の年会費は、個人 3,000 円・団体 5,000 円です。）

詳しくは HP をご覧ください（QR コードから入会案内のページがご覧いただけます）

「全国LD親の会」の入会については こちらをご覧ください

● **ご寄付 ありがとうございました**

株式会社健康サプリ研究所 代表取締役 千葉雅弘様

● NPO法人全国LD親の会 活動報告

2023 年
10 月 18 日～10 月 30 日 特別支援教育支援員養成ビデオ講座第 5 クール
10 月 24 日 かけはし 97 号発行
10 月 28 日 各会役員交流会
11 月 01 日～11 月 13 日 特別支援教育支援員養成ビデオ講座第 6 クール
11 月 04 日 11 月役員ミーティング
11 月 07 日 幼児・保護者保護者会員交流会
11 月 18 日 2023 年度特別支援教育支援員養成講座参加者交流会
11 月 25 日 第 3 回行政勉強会（障害者総合支援法の相談支援について）
12 月 09 日 12 月役員ミーティング
12 月 14 日 全国特別支援教育推進連盟文部科学省調査研究事業第 2 回企画会議
12 月 23 日 各会役員交流会
2024 年
1 月 13 日 1 月役員ミーティング
1 月 18 日 第 4 回行政勉強会（中学校での支援の取り組みや高校進学に向けての内申等について）
1 月 28 日 2023 ディスレクシア月間感謝祭
2 月 12 日 第 37 回評議員会・第 55 回理事会
2 月 24 日 各会役員交流会
3 月 02 日 3 月役員ミーティング
4 月 06 日 4 月役員ミーティング

● 第 55 回理事会報告

開催日: 2024 年 2 月 12 日(月・祝) 16:00～16:30
開催場所: 理事長宅（オンライン）　　参加者：理事 6 名
[決議] NPO法人全国LD親の会 第 37 回評議員会における審議結果の承認
第 37 回評議員会における審議結果を審議し、全員一致でこれを承認した。